

ICT奥能登「絆」づくり協議会の第2回総会&記念講演会を開催（1/2）



会長（泉谷珠洲市長）挨拶



顧問（齊藤北陸総合通信局長）挨拶

ICT奥能登「絆」づくり協議会（以下、「協議会」。）は、平成24年6月28日（木）、石川県奥能登総合事務所において、第2回総会を開催しました。

総会では、協議会会長の泉谷満寿裕珠洲市長の挨拶、顧問の齊藤一雅北陸総合通信局長の挨拶の後、平成23年度活動報告、平成24年度活動計画（案）の提案がなされ、満場一致で承認されました。

協議会では、昨年10月の設立以来、①観光、②高齢者見守り、③医療の3つの部会において、奥能登地域に導入が望ましい情報通信システムの調査・検討を行っており、今回の総会では、これまでの取組の成果が報告されるとともに、今後の取組について審議が行われました。

今後の取組に関して、①観光、②高齢者見守りの各部会については、来年の総会までに各々数回開催し、これまでに協議会の構成員から提案のあった情報通信システムについて、事業主体、事業費、利用環境、自立的・持続的な運営モデル等を含め、導入に向けた詳細な調査・検討を行っていくこととします。

ICT奥能登「絆」づくり協議会の第2回総会&記念講演会を開催（2/2）



スマートフォンを活用した「能登の里山里海」
PR展開のプロジェクト提案
(説明者：廣兼 NTTドコモ北陸支社長)



記念講演会の模様
(講師：総務省地域通信振興課 梅村研企画官)

観光部会では、能登の里山里海の世界農業遺産認定、能登有料道路無料化、北陸新幹線金沢開業など奥能登に追い風が吹いている中で、外国人観光客対応、情報発信力、広域連携等の課題解決に資する観光情報システムを検討していくこととします。

また、高齢者見守り部会では、奥能登地域の高齢化の進展が全国平均を40年先取りするほどの「高齢化先進地域」であることから、今後、全国、全世界で共通の課題となる『高齢者見守り』の先進的モデルを構築し、奥能登モデルとして、情報発信(全国展開)していくことを目指します。

なお、医療部会については、高齢者見守り部会の中で、医療費の負担を減らせるような「元気な高齢者づくり」のシステム検討も行うため、高齢者見守り部会に統合することとし、医療との連携の観点から、高齢者見守りシステムと併せて検討を行っていくこととします。

また、平成24年度の実証実験の取組として、NTTドコモから提案のあった「スマートフォンを活用した『能登の里山里海』のPR展開のプロジェクト」に取り組むことが承認されました。

この他にも、引き続き、協議会の構成員に対し、モデルシステムの実証実験等の提案を募集しており、良い提案があれば関係部会が協力して取り組むこととしています。

総会の終了後、記念講演会が開催され、総務省地域通信振興課の梅村研企画官から、「地域活性化のためのICT利活用推進に係る取組」と題して、講演が行われました。

講演会には、約60名の参加があり、講演の後、講師と聴講者との間で活発な意見交換が行われました。